

日本ロボット工業会 創立40周年



日本は世界一のロボット大国と呼ばれている。日本ロボット工業会と日刊工業新聞社共催の国際ロボット展では国内外のロボットメーカーが新製品・新技術を披露する

従来ロボットは自動車や電子・電機産業の成長、工場内の自動化・効率化を図る機械として導入が進んだ。ただし、ある特定の仕事をしかこなせず用途が限られていたこともあり、1990年代初頭以降は増減を繰り返していた。しかし、わが国の産業競争力強化や、介護・医療といった身の回りの世話、地震・水害などの災害対策、清掃・警備といったオフィスでの活躍など、社会的課題の解決・ニーズに応えるための決

ではなく、社会の中でロボット単体の開発・実用化が期待される。

競争力を強化 広がる活躍分野

ロボット技術の進化による生産性の向上、生活の質（QOL）の向上が実現され、ロボットが今まで以上に身近な存在として認識されつつある。同時に国際的な競争力を獲得すること、競争力強化に向けて取り組むべきことはロボットの安全課題、ビジネス振興のための制度整備、標準化の推進などである。これらの課題をクリアすることで、自律的に多様な作業を行うロボットが誕生し、ロボット産業のさらなる裾野の拡大が期待される。

日本ロボット工業会は創立40周年を迎えた。第1次ロボットブーム、経済のバブル成長・崩壊、第2次ロボットブーム、リーマン・ショックなど多くの成長期と停滞期の影響を受けながら、着実にロボット産業は発展してきた。

テクノロジー高度化 成長産業の新たな戦略



日本ロボット工業会 会長 高尾 光俊

ごあいさつ

一般社団法人日本ロボット工業会は、1972年(昭和47)10月に産業用ロボット懇談会を日本産業用ロボット工業会に改組して発足以来、2012年10月をもちまして創立40周年を迎え、本年5月22日には「40周年記念式典・記念パーティー」を開催します。

制の構築、そしてグローバル化に対応した国際競争力の強化といった経済的・社会的ニーズに貢献するとともに、その産業規模において世界のトップを堅持してきました。これもひとえに、自動車や電気・機械産業を中心としたロボットユーザー各位の温かいご支援、関係ご当局および関係学会の方々のご指導、ならびに当会設立以来よりロボット産業に携わってこられた多くの諸先輩、そして会員各位のご尽力の賜と心より感謝申し上げます。

さて、わが国のロボット産業は、わが国製造業の海外移転が加速することと国内市場が縮小傾向をたどるなか、中国、韓国、台湾などを中心とした新興国・地域でのロボット需要の高まりによって、ロボット出荷額の7割以上を海外市場に依存する状況にあります。また、欧米のロボット先進国に加え、中国、韓国、台湾などのロボット新興国・地域では国を挙げたロボット開発・普及策のもと、その技術力においても着実なキャッチアップが予想されます。さらに、わが国では加速する少子・高齢化

課題解決型技術として社会に貢献

してもその解決方策を探る観点から「ロボット産業ビジョン」を策定しました。

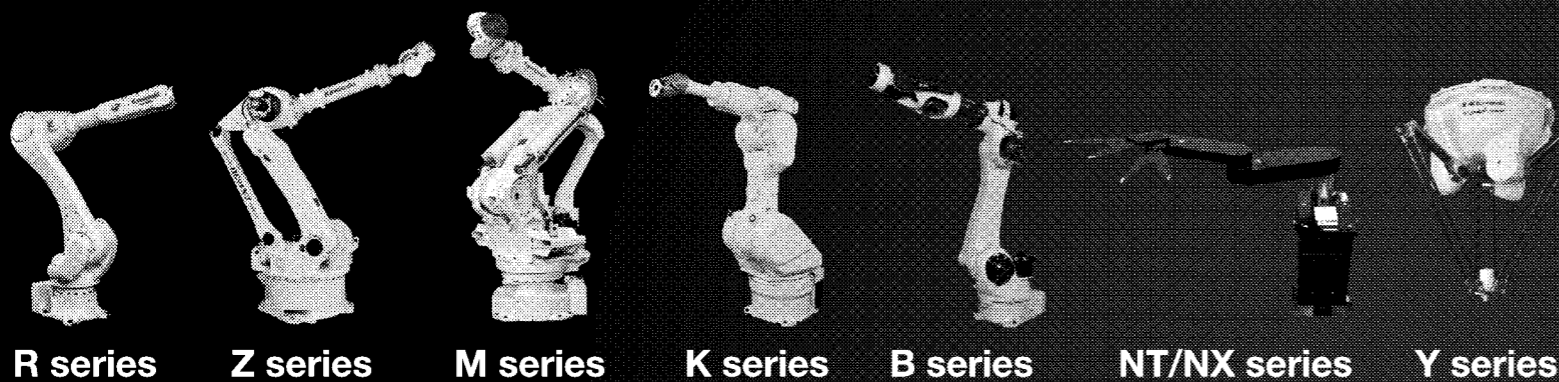
このような状況のもと、当会が40周年を迎える契機に、モノづくりに産業への貢献はもたらす経済的・社会的な意義を再認識し、社会の課題に対して貢献することを目指すと同時に、業界が抱えるさまざまな課題に対

は、「市場を捉える」、「業界構造を変える」、そして「イノベーションを興す」を三つの柱に、ロボット業界としてのさまざまな取り組みの方向をまとめておりますので、皆さまにもぜひご一読いただき、ご意見をいただきたいと思います。

豊富な実績と先進のテクノロジー—— カワサキロボットが未来を創ります。

Simple & friendly
Kawasaki Robot

充実のラインアップで、お客さまのご要望にお応えします。



川崎重工業株式会社

東京本社 〒105-8315 東京都港区海岸1丁目14-5 TEL. 03-3435-6852 明石工場 〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1-1 TEL. 078-921-2946
<http://www.khi.co.jp/robot/index.html>

Kawasaki
Powering your potential